中学校 待望の校舎増改築成る!!

本館・教室など工費1,600万円

完成なつた新校舎の全景

待ちに待った中学校の校舎増改築が遂に成りました。

本館、教室などあわせ実に延五百八十九坪、総工費約千六百万円におよぶ大事業であります。

本紙は、さきの前号で田辺地区簡易水道完成を記念して特集号を発刊、ここにまた中学校々舎増改築を記念すべき特集号をひきつづき皆様におくることのできるのはまことに快挙ともいうべき出来事であります。

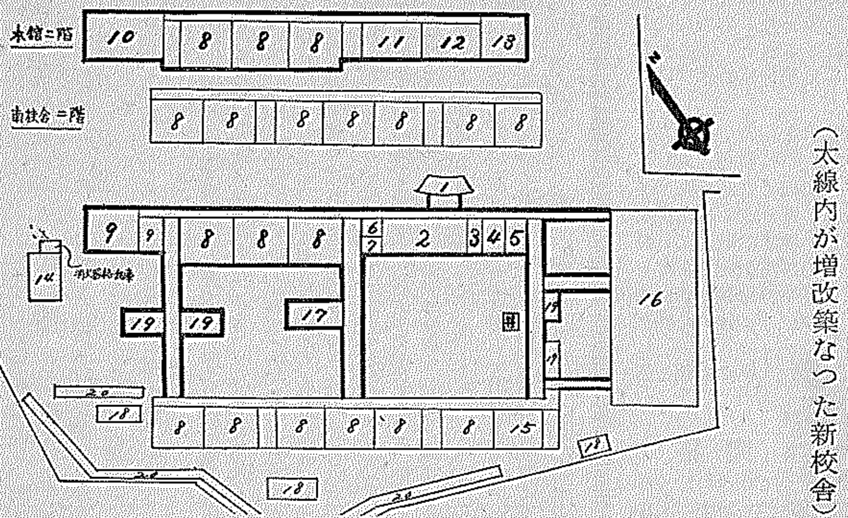
発行所
京都府綴喜郡田辺町大字田邊小字辻四〇
田辺町役場
電話田辺271――274番
編集人
京都府田辺町役場総務課
三星印刷所

特集号

校舎の変遷

昭22.4.1　中学校設立
昭23.7.21　新校舎完成移転（校舎2棟17教室、講堂本館1棟）
昭29.7.5　講堂兼体育館竣工（1棟216坪）
昭33.9.10　本館、校舎増改築竣工（本館、校舎2棟改築・校舎1棟増築）

校舎増改築完成平面図
（太線内が増改築なつた新校舎）



図の説明

番号	建物の名
1	玄関
2	職員室
3	面接室
4	校長室
5	衛生室
6	放送室
7	宿直室
8	普通教室
9	理科室と準備室
10	音楽教室
11	会議室
12	裁縫室
13	図書室
14	職業教室
15	家事調理室
16	講堂兼体育館
17	小使室
18	倉庫
19	便所
20	自転車置場

増改築に千数百名の署名
全町民の世論結集!!
遂に成る空前の大事業

工事経過報告

田辺町長　北川楢太郎

本日ここに田辺中学校の増改築工事がめでたく完了し、これが竣工式を挙行することとなったことは誠に欣快にたえません。

思えば竣工費一千六百余万円を投じた、本町としては実に劃期的で、しかも空前の大事業が、三十余名の教職員と八百の生徒の待望のうちに、予定どおりにむしろ予期以上に立派に竣工を見たことはほんとうにうれしく存じます。

この喜びの日に、本工事施行の経過を集録して、全町民および関係各位に報告し、そのご了承を得たいと存じます。

増改築工事を計画するまでのいきさつ

昭和三十一年の三月頃中学の育友会の役員諸君から、私（町長）に対し、早急に中学に特別教室四室の新築方を陳情されたのであります。その言い分は「国民の義務教育の最終段階である中学に特別教室が完備されて居ないことは甚だ遺憾である。教育第一主義の見地から町は万難を排して特別教室四室の新築に着手されたい。以上は育友会の総会に於て、満場一致の上の陳情である」というのであります。そので同年六月田辺中学校教育振興会」が生れ、その創立総会の席上でもこの問題が上程せられ、これまた、万場一致をもって「特別教室四室の早期実現を期す」むねの決議せられ、以来育友会、教育振興会の両者共同して、町民千数百名の署名を得て、強力に陳情が繰り返され、遂に町民全般の世論となったのであります。

私共は皆様からご注意や陳情を受けるまでもなく、田辺中学は、どうせねばならぬかは充分承知してその善後策には日夜痛心して居たのであります。先ずその第一がいわゆる六三整備法の基準から見て建物（本館、教室、附属建物一式）において相当坪数が不足していること、その第二が現保有建物のうち二百余坪の危険校舎（文部省査定）を抱えているなどの事情がありまして、陳情者側がいうように、特別教室さえ建てればよいというような簡単なものではないというところに問題があるのであって、これが根本的な対策の樹立に実のところ困りぬいていたのであります。しかも当時の町財政は極めてわるく、教育費だけの面から見ても、当の中学校では二十七年度に補強改造費三百余万円、二十八年度には講堂兼体育館の新築費に八百数十万円の臨時費を支出し、普賢寺、三山木、大住などの各小学校にはそれぞれ相当の建築費を累年支出して、これ等のうち多額の一時借入金の償還の途上にあり、なおその上に町の財政を極度に圧迫したのは、あの二十八年の未曾有の風水害による復興工事の痛手でありまして、これらが累積して相当多額の赤字を抱えて当時はこの赤字解消のための緊縮財政に真剣に努力していた時であって、しかも折も折、田辺小学校の六三三坪におよぶ老朽危険校舎をどうするのかと、同学区から真剣に叫ばれていたなどの事情もからんで、中学校の増築問題を決しかねていたのであります。

しかしながら、町財政や、その他の事情が、どうあっても中学の不足教室の問題はある程度解決せねばならぬことであるので、そのご数度にわたり、町議会を開き、又一面町教育委員会にも数度諮問するなどの方法を講じ、その結果とりあえず、四教室のうち二教室だけ三十一年度に新築するの案が可決され、育友会および、学校後援会に諮ったところ両者もこれを了とせられ、進んでこれが当面の建築資金として二百五十万円の一時的調達が引き受けられて、同年十二月上旬、すべての準備が整ったので、直ちに府教委に対し二教室の新築の認可方を、申し入れたのであります。

ところが、実を申しますと、その時、私は当時の施設課長町田実男氏（最近退職されました）から激しく叱られたのであります。同課長は「田辺中学の事は私（町田氏のこと）が一番よく知っている。あの中学の根本的対策は今をおいて、他に道はない。僅か二教室位を建てるようなコソクなことをして、どうなると思う。今からでも遅くはない。至急に根本的対策をたて、六三制に基く不足教室と危険校舎の改築とを一気に解決するの案を樹て、三十二年度において相当の補助と起債の申請を行うことが、最も賢明な方法ではないか」と悟されたのであります。以来一生懸命この問題ととりくみ、町議会や町教委と諮り、二教室新築案を一時保留して、根本的対策を練ることとなった次第であります。

増改築遂に成る

前述のような経過を経て、三十二年一月から、府教委の指導と助言を得て、萩本建築設計事務所に設計を委嘱する一方、数次にわたり東上して、文部省その他の要路に陳情を重ね、同年四月正式にその筋に対し、増改築の認可申請と六三制による、補助（五割補助）と危険校舎改築補助（三分の一補助）の申請と、併せて起債の認可申請を提出したのであります。そのたびたびその筋と交渉を重ねた結果ようやく三十二年八月に到り

（１）六三制による新築分は三十二年度において認可し

（２）危険校舎の改築分は三十三年度に繰り越し認可さるの方針

である旨の通達を受けたので、この方針にもとづき着々事業の進捗に邁進したのであります。

増改築の予算成立す

そこで前記の方針にもとづき萩本建築設計事務所に委嘱した本設計を検討し町議会に附議した結果、総工費一千六百万円を要することが判明したので、次のような予算案が町議会において、次ぎ次ぎと可決されたのであります（単位千円）

三十二年九月二十八日議決

歳入	
国庫支出金	二、五九七
町債	一、九〇〇
町一般財源支出	一、八七七
計	六、三七四
歳出	
工事請負費	六、二二〇
諸雑費	一五四
計	六、三七四

三十三年四月三十日議決

歳入	
国庫支出金	一、七一七
町債	七、七三三
町一般財源支出	四七三
計	九、九二三
歳出	
工事請負費	九、五六三
諸雑費	三六〇
計	九、九二三

三十三年八月十三日議決

歳入	
町一般財源支出	一〇〇
歳出	
諸雑費	一〇〇
以上通計（収支共）	一六、三九七

工事の概要と進捗状況

三十二年度および三十三年度の事業を通じ、工事の概要およびその進捗状況は次のとおりであります。

（１）増改築した建物の内容

本館	木造二階建	延二二四坪
教室	〃	〃二八三坪
小使室	木造平家建	〃　一〇坪
便所	〃	〃　一六坪
渡り廊下	〃	〃　六六坪
計		〃五八九坪

（２）工事請負人（指名入札の結果）

建築工事一式	原田工務店	原田静義
電気工事一式	同和電工KK	林　治吉
水道工事一式	KK新下工業	新下清次郎
設計及工事監督	萩本建築事務所	萩本　泰一

（３）工事進捗状況

地鎮祭	三十三年三月七日
上棟式	〃　五月十二日
竣工	〃　九月十日
落成式	〃　九月十六日

むすび

以上はその概要でありますが、これで田辺中学校多年の宿題であった普通および、特別教室の不足問題と、危険校舎の改築問題、便所や小便室の改築、渡り廊下の整備等一切の問題が一気に解決せられ、誠に慶祝にたえません。

近くその筋の検査を受け、諸経費等精算の上、その結果を本紙次号に発表して町民各位に報告することと致します。

終りにのぞみ、この大事業を完遂するまでの間、非常な協力をよせられた町議会および教育委員の方々並びに育友会、学校教育振興会の皆様および町民各位に対し、深甚なる謝意を表すると共に、終始誠意をもって工事に当られた工事請負人および監督の任に当られた田辺中学建築委員の方々に対し、心からお礼を申しのべて、筆をおきます。

成のよろこびをこめて

新校舎落成の喜び

教育長　村雲喜一郎

待望久しかった田辺中学校増改築工事が完了して、いよいよ華々しく竣工の挙式を見るに到ったことは、教育関係者の一員として誠に嬉しく喜ばしい限りであります。そして、改めてこの劃期的（ともいうべき）大工事を決意断行された町長の英断と、関係当局の並々ならぬ努力と苦心に対して心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

今回の工事で多年の懸案であった特別教室四教室も増設され、特に技術室や理科室の構造は、周辺の中学校にはその比を見ない優秀なものでありますし、校長室や衛生室も仲々立派であります。殊に中学校の特質を加味して狭いながらも面接室を設けられたのは、今後の進学就職相談等に役立つことが多いことと大変喜んでいます。かようにして立派な建物が出来上ったが内部備品については未だ不十分の点が多いので、今後これが整備充実については、町当局にこの上のご努力をお願いするとともに、育友会振興会その他大方町民各位の一般の御協力を特にお願い申上げる次第であります。

そして最後に、この新装成った立派な校舎で勉学される生徒諸君の幸を喜ぶとともに、この建物の一枚のガラス、一本の釘に至るまで悉くこの諸君の父兄である町民各位の尊い汗と脂の結晶によって建てられたものであることに思いを致し、従来とかくの批評があったような粗暴な取扱いを堅くつつしんでもらいたいことを衷心から念願するものであります。

喜びと願望

中学校長　小山万真

待望の校舎の増改築が成って、嬉しさがこみあげてきます。洛南まっ先に独立校舎を建築された当時の関係者の皆さんの御苦労は、終戦後の混乱期であっただけに、測り知れないものがあったと充分に察せられます。後、講堂を兼ねての体育館も加えていましたが、特別教室も不足し、又、校舎も改築の必要に迫られ、保護者各位を中心とした促進運動が関係者を動かし、諸々の困難を克服した上の実が結ばれたのであります。

学制改革後の中学校は、どの面もいばらの道を歩みつづけて来ました。十有余年の歳月は経ていますが、青少年の「学びの舎」として具備したい条件は、まだまだの感が深いのであります。校下の小学校を卒えた者が、挙げて就学する中学でありますので、これの充実は、町づくりの中で第一の場であろうと信じています。

本校は、今春四月の教職員異動に際し、まれな大異動でありました。気分はたしかに新たになりました。加えるに、不自由、不便ではありますが、校舎増改築の、のみ音、つち音、この建設の音は、心よいものの一つであります。中学創立十周年を終えて二年目、第二期に入った中学「よしやろう」の気持はみなの胸中に、たぎっています。今更申すまでもなく、教育の基盤は、「人」であります。他にも効果を挙げるための、条件は数多くありますが、この基盤の上に築き上げる事が何より堅実であります。

本校は、従来より教育目標として五つをかかげています。正義・知性・責任・明朗・自立であります。したがって、日々の学習、生活もこれに向って集約されています。七百六十有余名の生徒も、この目標に歩を進めています。旧制の諸中等学校と、すべてを異にした今の中学ですから、すべてが「すっきり」しない節もありますが、これは止むを得ないのでありまして、大きく広く考えれば、それが当然の姿で必要なのであります。

本校は、三十二年度に文部省から産業教育指定校となりました。大体、二ケ年間にある程度の成果をまとめ報告する事になっています。指定されたからとて、特に変った教育を実施するわけでありませんが、この機会に、不充分な施設、備品をより充実する必要があります。研究すれば、いろいろの目標はありますが、「有能な科学的生産人を育成」「適切な進路指導」の二つにしぼって、関係方面の協力、支援をうけながら、牛歩の如くではありますが、確実に進みつつあります。

また、今年度から、何かの原因で精神年齢の発達が、ややおくれている生徒を対象に、特別教育を行っています。学級生徒は十名前後でありますが、普通学級では、とても芽がふき出ないのを、「何とかして将来性のある芽を…」とこの努力をつづけています。この結実は、まだ分りませんが、必ずや生徒に幸福をもたらし得るものと確信しています。

最後に今後の願望を略記し、これの実現に大方のみなさんの理解と協力を俟つものであります。まず、引きつづいて南校舎の改築であります。短命ですが「もう寿命は来ている」と見ます。生徒が学習し生活するに、よい結果を得ることが至難であります。次に、備品の充実であります。講演式に知識の切り伝えの学習では、活用出来るものは習得出来ません。視聴覚に訴え、経験を通してこそ自分のものになります。第三は環境の整備であります。情操教育の上からも「うるおい」のある環境は、この年代の若人を育てる上に欠くことが出来ません。この外、通学路の整備・水泳用プールの新設・冬季の暖房の設備・盗難防止・火災防止の措置・汚物処理等々。夢ではありません。何れも実現したい事ばかりです。

生徒のために。人に育てるために。町づくりをするために。

学校建築と町民の覚悟

文教厚生委員長　堤伊之次

本町多年の懸案であった中学校の校舎増改築が完成されたのについて一言申し述べたいと思います。申し上げるまでもない事ですが、町立学校の増改築は本町民として誠に喜こびにたえないのであります。しかし御承知の如く、本町には一中学校、五小学校、一技芸学院、三保育園を有しているのでございますが、いずれの学校を見ましても、はや老朽になっておるのでございます。中でも田辺小学校、草内小学校等、その他いずれも老朽の極に到っておりまして早晩改築にせまられているのでございますが、町当局としても多大の予算がある訳でもありません。したがって、理事者は申すまでもなく、全町民が、うって一丸となり、この難局を切り開き老朽校舎の改築に心を寄せられんことを切望する次第でございます。私、本町文教を担当致しております立場から切実に町長各位にお願い申し上げる次第でございます。

中学校増改築完成に当り一言お喜こび申し上げると共にその所信の一端を申し述べさせていただきました。

新校舎落成を記念して

中学校育友会長　森島栄次郎

南山城の中心地田辺、その中心に真新しい木の香、塗料の香に道行く人々の目を引く。田辺中学校新校舎が立派に完成し、落成の運びになりました。

思えば三年前、会員の熱望或いは町理事者諸氏の熱意により校舎の新築が計画され、種々の難関を克服しながら今実り、その偉観は田辺町民の喜びとするところであります。

町民の皆様、町理事者の方、ありがとうございました。子供達は新装成った校舎で学ぶ楽しい夢を追いながら登校する事でしょう。

良き環境でこそ、良い子供が育ちます。義務教育最後の仕上げの場である中学校でこそ最も大切であり、かつ四方に気を配って行くべきであると思います。学業に励む子らも、今日の喜びを永久に脳裏に残して行く事でしょう。

育友会と致しましては、何かと御無理なお願いばかり致して来ましたし又致しつつあります。でも私達会員もすべて町民であります。

理事者諸氏の苦労は、私達も共に味わい行く覚悟で御座居ます。

現在の田辺町の偉容、明日にはゆる美しさ、我らの子等の学ぶ園に幸あれ、より栄えよと祈りつつ会員諸氏の願いのかなった今日の喜こびを、子供と共に分ち合い、今後内容の充実すべく、町民皆様方の絶大なる御協力をお願いして新校舎落成の祝詞と致します。

いと思います。実
、こんな良い校舎
私達の年齢は、物
なので、くれぐれ
かなくてはならな
して、この新しい
努力して下さった
謝しなければなら

川　勝也

達級友八人は仲よ
強も自分の力に合
国語も大分漢字が
数学も大分出来る

、勉強の外に珠算
ものなど、将来社
内各学年生大会に
来に二等、一年女
卓球に入って他
にも私の学級から
のひまをさいて一
に行って、よい成
力を身につけ、立
、私達の待ちこが
山城地方で見られ
を建てて下さった
い学校を私達の力

高市　一宇

思うだろう。しか
というと、今年の
で、授業を受けな
いやだった。学校
ことも、教室の後
た。そして一日の
になる。そのよう
たりまえだ。学校
っしゃることまで
か、といくどか思

かえをした。これ
。なるほど多少は
い。これでは前と
しまうのかなあと

望の新校舎ができ
わざに「かんなよ
おかげで、学校中
になれば、うしな
ついた何をさして

田　智代

奉仕活動がありま
動です。これこそ

えついたことを少
愛の結晶であり、
は正しく目を見開
いつわりのない奉
ています。もし、
事のいかがわしい
のよさがよくわか
であると思います
、こえくみ、草
ないことも、多数
事がまたたく間に
です。こうした作
します。そして尊
新校舎を中心に、
を通じて流れてく
できることでしょ
て、育っていくこ

とと思います。

そして終りに私は、この田辺中学校に、奉仕下さっている管理者、ならびに学校に対して、たえまない御協力を下さっている方々に心から感謝するしだいです。

新校舎を何時までも美しく

生活部長　吉川与四彦

秋晴れの空、緑の薮を背景に、瓦のつやもあざやかに、ローズ色の近代色に塗りこめた、ずっと一並びの校舎のすっきりとしたながめが、一きわ人目をひく。これがぼく達の待望の新校舎なのだ。いよいよ落成の日を迎えて、ぼく達はこの校舎の前に立つ時、又新しい希望がわいてくる。

この校舎が出来るまでのボロ校舎、壁は落ち、天井はやぶれ、何か落ち着けないものがあった。それに、他の学校にあるような特別教室もなく、先生もぼくらも不自由さをがまんして学習しなければならなかった。それでぼくは、かねがね「学問はリンカーンのように土の上でもできる」という時代はすぎて、進歩した近代文化を、身につけるには、環境や設備というものが、大切だと思っていた。だから、今こうして特別教室もあり、見るからに感じの良い校舎が出来上がったことは、ぼく達にとって、非常な喜びであり、このようにして下さった、町当局はじめ、PTA、先生方が、いかにぼく達に期待をかけて下さっていたかということを知り、感謝すると共に、どうしても、この期待に答えなければならないことを、痛感するのである。

生活部としては、皆んなが力を合わせ、この新校舎を、いつまでも、今のままの、いや、今よりも一層、内が光り輝くように校舎を大切にし、その美化につとめよう。しかし、校舎だけが、如何に立派であっても中味がそれに伴わなければ何もならない。それはつまりぼく達自身を磨くことだ、根本は心の問題だ。新校舎落成の新しい感激に燃えて、益々心をひきしめて学習に頑張るんだ。正しい強い心で日常生活をよくしていくんだ。近頃、新聞やラジオの報道で盛んに青少年の犯罪がやかましくなって来た。色々の事情のあるようだが、やはり正しい強い心が欠けている。

新校舎としては、第一回目の卒業生であるぼく達は、大いに自重して頑張るつもりである。

新校舎が建って

3A　岸本剛裕

長い夏休みが終って、二学期が始まったが、私にとってはうれしくない学期である。なぜかと言うと、あまり夏休みに遊び過ぎて宿題が沢山たまった。だから、二学期が始まると、とても忙がしくなるのである。本当は、一番勉強のしやすい学期であるが…。

しかし、その反対に私たちにとってもうれしい事がある。「新校舎」すばらしい新校舎だ。何とうれしい事だろう。今までの校舎とくらべてとても明るい校舎であり、まわりの物まで、すべて明るくなったようだ。私の好きなペンキの匂い。新しい木の香り。頭のすみずみまでが、すうっとするようだ。だけど新校舎が建ったのは、とてもうれしいが一つだけ気になる事がある。それは新校舎が建つとともに、まだ前のままになっている南校舎がよけいにみすぼらしく見える事だ。新校舎がよく目立つ。そのかわり古校舎がよけいに、みすぼらしく見える。ちょっと不似合いでないかしら。私が、南校舎に入っていた時には、二階のローカに穴があいていて、そこから、下がよく見えていた。そして腰板もボロボロである。オンボロ校舎と言われるのも、無理ないでしょうな。北校舎そして本館が建つとともに、南校舎もはやく建ててほしいものです。あまりかってなことを言うと、せっかく建てて下さった人に怒られるからこの辺で…。

しかし何と言ってもうれしい。中学生の皆さん、この新校舎の建築に御協力して下さった、町長さん始め、父兄の皆さんに感謝をしよう。そしてより一層勉学に、はげもう。南校舎に入る一年生と二年生の人は、あまり感謝をしないでしようが、どうせ後で入れるんだから、あまり不平を言わないように。それから校舎をこわさないように。ちょっとさわったりしたら、壁などが落るから気をつけて下さい。「どうせ古いんだからこわしちゃえ」なんて、思わずに、大切にして下さい。下級生に、一言申しておきます。

新校舎で學べる喜び

3E　中川公子

校庭にのみの音が聞え始めてから六カ月たった今、私達の待望の新校舎が建てられました。

山城一を誇る講堂兼体育館を持つ私達の学校に、又立派な本館と教室が建設されたことは、非常に喜ばしいことです。しかしその間の五ケ月つぶされた教室の代りに講堂を区切った仮教室で勉強したり、毎月行われていた映画会もなくなるという不便がありました。又、本校の誇りとする体育部の練習も運動場の一部と講堂が使えなくなったため、大変不自由でした。が、日々に進んで行く建築のようすを見ながらそれらの不自由も、あまり苦にせずしんぼうして来ました。しかし私達三年生は最上級生徒として優遇され銭湯のような騒しい講堂での生活も体験せず、ちゃんとした教室で、一学期の授業、夏休みの補習を受けることが出来ました。その上落成すると講堂の仮教室で騒音になやまされつつ勉強した一年生、二年生の方を旧校舎に残し、あつかましくも三年生が新校舎に入れていただくことになっています。そして義務教育最後の年の残り半分を、立派な新校舎で勉強させていただくことを、心から感謝しております。新しい特別教室での勉強、明かるい窓の教室での勉強は、どんなに気持よく楽しい事だろうと思います。こんな新しい校舎に入れていただく私達は、どんな傷もつけないように大切に使い、後の方におゆずりしなければなりません。こんなに優遇してくださる皆様に対しても、一層勉強にはげみ、立派な人間にならなければならないと思います。そしてより楽しく、より有意義に残る日々を過ごしたいと思います。

完

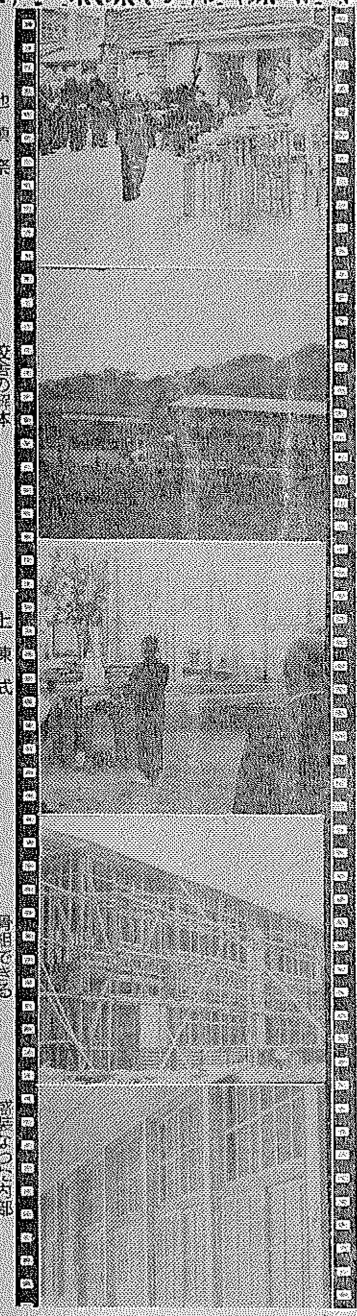
新校舎落成の日に

この朝や大気流れてすがすがし　校舎の窓のみな光りつつ
○
陽の光みちて輝く秋空の　静けさに建つ校舎の偉容
○
新しき校舎の前にわが立ちて　おのが姿の小ささを思えり
○
待ち望む新学び舎のけふ成りぬ　嬉しからずやはげまざらめや
○

新しき校舎と共に新しき　心を持ちて勉め吾が子ら
○
城南の田辺のあたり香も高き　文化の花を咲かせいざ君
○
校門のヒマラヤ杉の茂りにも　十周年の夏深みたり
○
土けむり空にあげつつ通学の　道はばせまくトラックのゆく
○
砂運ぶトラックの往来しげくして　子等にけがなど無きを祈りぬ
○
久にして母校に行けば草野なる　石碑うれし鉾立の松

田辺中学校教育振興会長　大久保　泰男

カメラに見る工事完成まで



地鎮祭　校舎の解体　上棟式　骨組できる　営業なった内部

緑の新校舎に思う

生徒会委員長　小西光男

暑さ寒さも彼岸までと、昔からいわれますが、この彼岸間近かな九月十六日の佳き日に、我々生徒八百余名が待望の、新校舎落成式を挙行下さる事になりました。これが完成には、北川老町長さんをはじめ、教育委員会および教育振興会や育友会、田辺町々民の皆様方の教育愛と我々生徒を愛する一念から、我が中学校の発展のために、多額の費用を投じて、明るくて、近代感覚豊かな、近畿一を誇る校舎にするために、物心共に一方ならぬ労苦のあった事を思い、この新しい校舎で勉強の出来る我々にとっては、この上もない幸福な生徒だと心からあつく感謝しております。これからは我々は、この恩にむくいるよう、我が校の名誉にかけて、田辺町発展のため、あらゆる方面の基礎となる教育をよき指導の元にしっかり身につけて、立派な人格を作り上げるよう努力せねばならないと思います。

この校舎の完成は、現在学びつゝある我々にとっては、一生忘れる事の出来ない感激でありこの立派な校舎を、何時何時までもいためぬよう、大切に取扱う事を、生徒会で申し合わせて再び町の皆様に御迷惑をかけないように、したいと考えております。

こんごも内部の施設などにいろいろと、充実して下さいまして我々が、本当に勉強のしやすい学園にして下さいますようお願い致します。ただ感謝、感謝で我々の気持を新にし、こんごの決意を固めるものであります

ありがとうございました。

体育を通して……

体育部長　北尾　豊

盛夏も終り、稲の花も乱満にさいている今日田辺町民の方々により校舎落成を挙行して下さいましてありがとうございます。わが校の体育クラブにおきましては、多数の賞状をいただき名誉ある体育クラブとして発展してきました。これをうけつぐ私たちは、この近代的な校舎で学習も十二分にし立派な心身になって、社会の役に立つように、この校舎で基礎をきずきあげようと思っております。

この校舎は近畿一を誇る立派な校舎でありますが、いくら校舎が立派でもそこに入る我々が立派でなくては何もなりません。そこで体育クラブで身をきたえなくてはなりません。そのためにスポーツをやるのですただの遊びは何もなりません。よく保護者の方は「うちの子供はクラブに入り毎日遅く帰ってくる。そのためしんどさまぎれに学習をしないのでせいせきが下った。部は遊びだ」この言葉をきいて本人も反抗心を持つに違いありません。というのは、玉汗を流し忍耐力と共にやるこのスポーツを、家族は遊びとみるからなのです。その心も、この新しい校舎と共に取消してもらわなくてはなりません。そしてスポーツの出来る子供にこそ、愛の手が必要なのです。クラブに入るのは、悪心を誠心でたたきのばすのです。

それから健康になる技術を高めるためであります。今年の体育クラブは、校舎を建てられるため運動場がせまく十二分に練習できなく、体育館も使用出来なくて、今年の試合では好成績は修められませんでしたがしかし日ごろの練習が実り先輩に恥しくない成績をおさめました。でもこの新校舎が建設されたおかげで、体育館も使用出来ますから、屋内で練習するクラブも、十分におこなってください。二学期から体育クラブとして、新校舎と共に一年間を切りぬけ、新校舎を建てて下さった町民の皆さまに、私たちは体育を通して報いたく思います。

いつまでも文化クラブを

文化部長　中井香郎

待望の私たちの新校舎も愈々完成！僕達は、この日を首長くしてまっていた。僕達にとってこんなにうれしい事はない。家庭の皆様方の協力と町長様等の協力とで、我らの田辺中も完成と言う声が聞かれるのである。僕達は新校舎の完成に大変感激している、この感激をもって、田辺中の生徒も、綴喜郡、いや京都府一の生徒になってみせると言うのが僕達の願いである。そして先輩がのこしてくれた田辺中を、大事にそだてて行くと言うのが、僕達の第二の願いである。始めはどのように建築されるのか想像もつかないくらいだったが、これほど良くなるとは思っていなかった。二学期から新校舎に入れると言うので、三年生も大変はりきっています。一年生は講堂で勉強とは、大変つらかっただろうと思う。…今年は文化行事も講堂に一年生が入っていたため出きず、映画観賞も講堂で出来なく、映画館へ見に行く有りさまであった。しかし新校舎が出来たからには、文化行事も、うんと行ないたいと思う。そして今まで出来なかった分も取りかえしたいと思っている　僕の希望としては文化クラブが活躍してくれる事を、ただいのるだけである。昨年までは、少なかった、文化クラブでも十クラブ余りのクラブが出来、こんなにうれしい事はない。………しかしいくら十余りのクラブが出来てもそれをうまく運営しなくてはならない。僕は、このクラブをいつまでも、つづけたいと思う。そしてこのクラブが活躍するよう努力する。又将来社会に出て、文化クラブが役立つよう心から祈っている。

校舎完成特集

わたくしのつづり方

田辺中学校

一學期の反省

1A　奥西孝之

新しい希望に胸ふくらませて、この四月私達は、このめいよある田辺中学校に入学させていただいたのもつかの間、はや二学期をむかえました。新学期早々、本館と新校舎がりっぱに完成し私達の喜びは、何にもたとえようがありません。そこで私は、一学期の反省をしてみました。入学式の時、町の主だった役員の方や、なつかしい先生そして父母に祝福されながら、この田中生の一員となって、学習その他によい子としてよい生徒として、思うぞん分にかつやくすることを誓ったのです。ところが、一学期の中ごろから間仕切りの天井の無い、体育館で学習することになり、毎日の学校生活がやかましくて、いやになったのです。しかし二学期からは、それぞれの教室に入れることが、約束されていたのでがまんしていたのでした。それにつけても私は思い出します。五月十二日新校舎の上とう式に生徒代表として参列し、うやうやしく玉串をほうてんする機会を得ました。その日は、非常に、寒い日でしたので、式には老田辺町長様をはじめ、教育長様その他の来賓が、おごそかに参列されていました。どの方もみな、この大事業の恩人である、と私は心から頭の下る思いで一杯でした。とりわけ私は、年をおとりになった町長さんが印象的でした。ほっそりとした白髪のよき私たちのおじい様のような方、なんとなく親しみのあるやさしいおじい様のような、そして人格円満な私達のたいせつな町長様、私はこの寒い日に、私たちの学校のためにこの式に来ていただいたことを一生の思い出としてわすれられません。町長様ありがとうございます。ただこの事のみが町長様にもうし上げたい気持で一杯でした。そして町長様を中心に、多くの役員様そして田辺町民のみなさまに対してつぎからつぎへと感謝の気持になったのでした。月日のたつのも早く、今日はそろそろ本館への移転です。お手伝いをしていると、音楽室・理科室・図書室など、おそろしく立っぱです。これが田辺町から私たち生徒に、あたえてくださったよきおくりものです。なんと私達はしあわせ者でしよう。私は、そこでこのとうといおくり物を、無にしてはならないと思います。校長先生や先生方の教えをよく守り、よき社会人となりきっと、田辺町のためになるような人間にならなくては、ならないと思います。

校舎増築に思う

1E　鈴木靖子

私が、始めてこの中学校の門をくぐった時、なんてきたない校舎なのだろう、と思いました。私の出身校は、山城一古い校舎を持つ田辺小学校でしたが、こんなにもきたなくなかったと思います。ところが、二学期の第一日に、登校してすばらしい建物が立っているので、びっくりしました。うすい緑色の建物が、甘く優しい感じを、あたり一面に撒き散らしてなんとも言えない美しさで、学校のふんいきが、まるで変った様です。又、校舎内も新しく美しい。一階は、理科室・職員室・校長室・衛生室・三年の教室三つ、などがあり、二階は、音楽室・図書室・作法室・会議室・三年の教室三つがあり、一部屋ごとにちがった感じがします。それに、校舎の中央に、一、二階とも、防火装置まであり、廊下には、電灯がつき、天井や窓わくには、明かるい色がぬってあるので、室内全体が明かるい感じです。でも私が、一番美しいと思ったのは、何と言っても作法室で、新しいたたみが、ずらっと並んでいて、床やふすままでついていて、料理屋の座敷の様に思いました。理科室などは、山城一の設備が整っていると聞いて嬉しくなりました。図書室には、沢山上等な机や椅子が置いてありますが、残念な事に、学校になくてはならない本が、あまり無いのだそうです。音楽室は、防音設備もしてあり、二組一緒に入っても良いくらいの大きな部屋………。今まで古ぼけた校舎で、学習して来た私達は、こんな美しい教室で勉強させてもらうのは非常に嬉しいことで、それと共に、なお一しようけんめい学習に、はげ

まなければなら
に私達は幸福で
が立った　れど、
をよくこわす時
も注意し合って
いと思います。
校舎を作る為に、
多くの方々に、
ないと思います。

橋本學級に入級して

1年

橋本学級に入級してもう三カ月以上たちました。
く一日も休まず、毎日楽しく学校へ通っています。
った事が習えるのでとてもおもしろく学習出来ます。
書けるようになりました。日記も毎日書いています。
ようになりました。

ほかの教科もわかりやすく先生が教えて下さいま
謄写印刷、花だん作り、工作裁縫、ミシンかけ、あ
会に必要な職業を習います。校内活動の方では私は
入賞し、又他の級友は校内陸上大会で、一年男子150
子百米に三等をとりました。その外私の学級　は三
のクラブ員とともに練習に励んでいます。又学校新
二名作文をのせてもらいました。夏休みも学級の勉
カ月間級友の小島君が、町内のたばた商店(職業見
績でほめられました。私達はしっかり勉強して十分
派な社会人になる決心でがんばります。うれしい事
れていた新校舎が落成し、中学校のようすもかわっ
ない立派な学校になってうれしいです。折角よい校
ので、その中で勉強する私達も一生懸命勉学して、
で作っていきたいと思っています。

環境は人をつくる

2B

今年の二年生はどうもおちつかない、とだれでも
し僕はこのことはどうもしようがないと思う。なぜ
二年生は一学期の始めから、あのやかましかった講
ければならなかったのだからだ。ほんとうにあの時
に行くと講堂中がハチのスのよう。先生のおっしや
のほうでは半分ほどしか聞き取れないことも数回あ
授業が終り家に帰ってくると、ほっとしたような気
な状態だから、授業中の態度も自然と悪くなるのもあ
にいる時でも授業中にマン画を読み、時には先生の
も、すなおにきかない者もいる。こんなことでいい
った。僕は一年生や三年生がうらやましかっ

しかし、僕たちは学期の半ばで一年生と教室の入
で少しは落ちつくだろう、と全部が思っていただろ
静かにはなったが、僕たちの動作は少しも落ちつか
少しもかわらない。今年中はこのままの状態で終っ
思っていた。

でも僕たちが不便ながらもがまんしたおかげで、
あがり、学校中が大変うれしそうに見える。昔のこと
うは人を作る」いうのがあるが、新しい校舎のでき
のふんいきが一変して、生々としたすがすがしい学
われたかんきようを取りもどせるだろう。そして落
もできる良い中学生が再生すると思う。

私達の奉仕活動

2C

一学期に始められた本校の新しい試みの一つとし
す。粟野先生を中心として生徒会員が参加する一大
生徒会全員活動の華というべきでしよう。

私はこの奉仕活動を通して奉仕という事に　いて
しのべますと、例えば、親が子に対する奉仕の精神
又太陽があらゆる生物の奉仕活動として感じる時、
く時、恵という形で受け取られる様に思います。う
仕された場所はうるわしい花園の様な社会の形をと
奉仕どころか正常以下の行いがあるとすれば、三面
事件をうむ結果になると考えますと、いかに奉仕活
ります。それで奉仕活動の社会的意義はきわめて重

今までに行った活動は、運動場の石ひろい、どぶ
かり、木工的補修作業等、一人や二人ではとても出
の力で、身も心も一致して作業を始めると、大きな
出来上り、校長先生からおほめの言葉をいただいた
業が社会のあらゆる面にもゆきとどいて行く様に
い力の結集として、新しく、清く、美しく建てられ
今後私達が奉仕活動を行う時、私は美しい音楽が放
るならば、より一層私達は、意義深く奉仕活動に専
う。又この活動を通じて、よりうるわしい社会人とし

田辺町立 高等技芸学院移転きまる

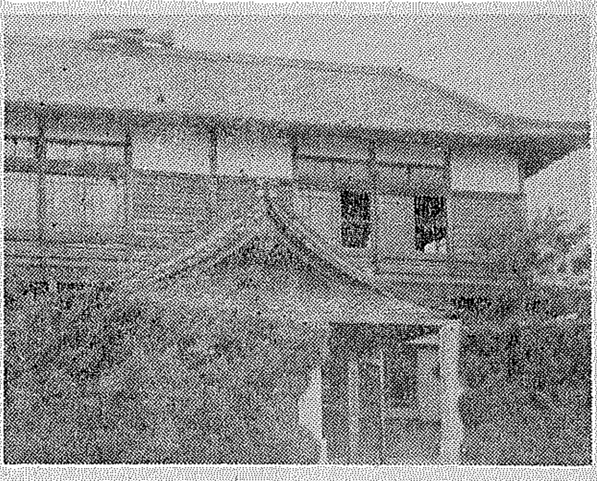
町の中心部（田辺警察署前）へ
校舎竣工は十二月ごろ

昭和二十七年四月、旧大住村役場庁舎に開校した田辺高等技芸学院は、近く田辺町大字興戸（田辺警察署前）に新校舎を建設、移転することに定まりました。

ちなみに本学院新築当時、町会において"当分のあいだ元大住村役場庁舎を利用して設立開校するが、近く将来田辺町の中心部に移転すること"という条件付で開校を見たものであって、その後は毎年当初予算審議町会の都度「技芸学院移転は何時実現するのか」との質問が繰り返され問題となっていたのでありますが、ここにようやく移転問題が実現の運びとなったものであります。

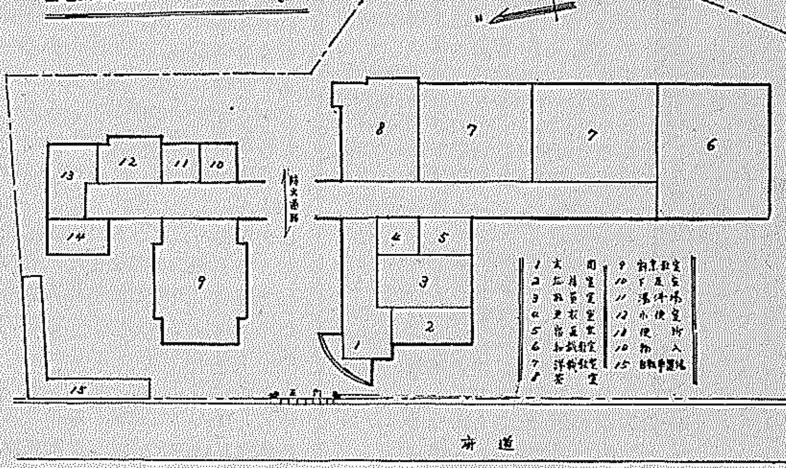
今回の移転候補地は田辺町の中心地に位し、府道八幡—木津線にそい、西は府道をへだてて田辺中学校、田辺警察署、京都府農業試験場山城支場に近接し、東は木津川をへだてて、井手、多賀、青谷の連峯を一望にして眺める教育環境として理想的の地であるのみならず、国鉄田辺駅、あるいは奈良電、新田辺駅、興戸駅から徒歩十数分のところにあり、また奈良バスの停留場からは徒歩一分以内という通学にも便利な位置にあります。

なお、敷地面積は現在約五百七十坪、拡張予定地約百八十坪、今の予定では本年十二月に竣工する見込みです。



近く移転される町立高等技芸学院　（建物は旧大住村役場）

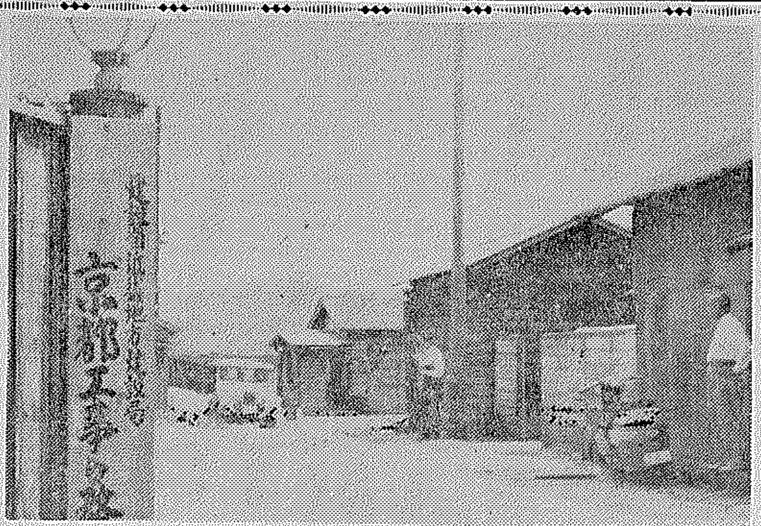
田辺高等技芸学院　新築工事平面図



10月1日 全国一斉 住宅調査はじまる

住宅統計調査が行われます。これは十月一日に全国いっせいに行われるもので、くじでえらばれた地域について調査されます。調査されることがらは、家の坪数、タタミ数、構造、建てた時期、持家か借家か、家賃、設備はどうかなど建物についてのこと、職業や、一カ月の収入などについても調査されることになっています。このようにして調べられた結果は東京の総理府統計局でまとめられ、こんどの住宅対策をたてるためのぜひ必要な基本資料として使われます。またこの調査の内容は秘密にされ、この目的以外には絶対に使用されませんから、調査員にはありのままをお答えくださるよう特におねがいします。なお田辺町で調査される地域は次の五カ所となっています。

多々羅、一休丘、薪、草内、田辺のそれぞれ一部。



お役所遍路

建設省京都工事々務所⑤

○…"木津川"の洪水記録はいまわかっているだけでも、正徳二年（二四六年前）以来十二回におよんでいる。木津川沿線の町村が、このために尊い人命、財産の犠牲をくりかえし、かつ恐怖におののいてきたか、はかり知れないものがある。それだけに住民も、こと木津川治水ということには非常な関心を持っていることはいうまでもない。したがって、建設省京都工事事務所というお役所に、沿線住民の全生命と財産を託しているといっても過言ではない。いまもむかし風に"木津川内務省"と呼ぶ人も多い一つの理由に、こうした因縁関係があるのだろうか。

○…以前、木津川は府の管理だった。度重なる洪水に対して、府費をもって明治四十四年以降七カ年の継続工事で改修工事が行われ、当時にして二千四万一千円の巨費を投じて、大正五年に工事が完成した。この工事で田辺町でも水ハケの悪かった奈良電鉄橋附近の堤を、百二十米引堤されたと記録に残っている。翌六年九月、記録的な大洪水に見舞われたが、幸い小被害にとどまりホッとさせた。もし、この工事がなかったらどんなことになったろうと想像に難くない。その後、管理が国に移され、昭和六年六月、いまの事務所が内務省木津川改修事務所として発足をみたわけ。

○…同事務所技師の一人は「木津川の根本改修工事は当初計画の八十パーセントが進み、残されているのは堤の漏水止の特殊工法だけだ。また、木津川上流に高山ダムが目下調査の段階ではあるが、完成後は下流町村の水害の悩みに、終止符が打たれる日も遠くない。」との明るいニュースである。

○…同事務所は府下でたった一つの建設省直轄のお役所。河川の仕事だけではない。府下の一級国道、たとえば国道一号線（京阪国道）二十四号線（奈良国道）などの補修改良を施したりあるいは新設に、直接設計監督をしたりしている。事務所には高橋所長以下、技師など百人の陣容で、仕事の広範囲なことでも、町内のお役所仲間では一番大きい存在である。

選挙名簿にもれなく 登録申請しましょう

町選管委では、九月十五日現在で基本選挙人名簿の登録者を調査しています。

この選挙人名簿は毎年毎年あたらしくつくりかえるもので、たぶんみなさんの手もとには「資格調査票」が区長さんを通じてとどいていることでしょう。

選挙人名簿に名前が載っていなかったら、どんな選挙においても投票できない、ということはみなさんもよくご存知のとおりです。

来春には、町長、町会議員など一番身近かな大事な選挙がひかえています。

あなたの"公正な一票"がむだになってはそれこそ大変です。「調査票」にははっきりと、わかりやすくかいて役場内選挙管理委員会へ出してください。

▼登録できる人

（イ）日本国民であること。

（ロ）昭和13年12月21日以前に生れた人。

（ハ）今年の6月16日以前から田辺町に住んでいる人

▼登録できない人

（イ）禁治産者

（ロ）禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまでの者。

（ハ）選挙犯罪により選挙権、被選挙権を停止されている者。

この選挙人名簿は本年十一月五日から同年十一月十九日まで十五日間、田辺町役場において縦覧いたします。

この期間中には、あなたの名前が名簿に確実に載っているか、どうかまちがっていないかを、必ず見にいってたしかめてください。十分気をつけて調製していても、もしかしてあなたの名前がもれていたり、まちがって載っているかもしれません。

名簿が確定してからは、どんなにさわいで見てもあとのまつりですから期間中には必ず名簿を見にいってください。

"赤ちゃんの健康診断 是非受けましょう"

児童福祉法にもとづいて、本年度の乳幼児一斉健康診査が次のとおり実施されます。

これは乳幼児の発育状態の調査をするとともに、現在病気にかかっているかどうかを診察し、こんごの養育についての指導を行うものです。

特に虚弱な乳幼児の保育・結核の早期発見・生まれたとき体重の少なかった赤ちゃんに診査の重点をおいて実施されるわけで、是非お受けになることをおすすめします。

▽診査の対象者

昭和三十三年四月一日から同三十三年八月三十一日までに生まれた赤ちゃん

▽診査の日時場所

九月二十二日午前十時から午後三時まで田辺小学校で

米田建設次官来町

最近来町の米田建設次官は「青草橋は府が主体である。だから府の橋りょう計画における優先順位に青草橋がどう取扱われているかが先決問題だ。国としては府から申請があれば何時でも援助する」と語られました。

（消）（防）（ポ）（ン）（プ）（購）（入）

本町消防団では、このほど二台の小型動力ポンプを購入いたしました。このポンプは長さ五四センチ高さ六〇センチ、重さが七〇瓩（約十九貫）の小型で、簡単に持はこびができ、しかも高性能というもので、一台が二二万円。この二台のポンプは大住（東林）三山木（宮ノ口）の各消防団へ配属されるものでその引渡しが、さる九月十三日行われました。

総務課長に古林氏

三十二年勤続 村上氏は勇退

職員人事異動

北川町長は去る九月五日、役場職員の人事異動を行いました。この異動により永年勤続の村上総務課長がその職を去り、総務課長には古林税務課長、以下異動発令者は次のとおり。

総務課長　古林良夫（税務課長）
税務課長　北川七造（税務課）
会計課へ　市川武夫（総務課）
総務課へ　里中　勝（経済課）
経済課へ　岡井宇一（税務課）
税務課へ　岡井利子（総務課）
事務嘱託　村上竹次（総務課長）

國土建設郵便貯金特別増強運動

国土建設郵便貯金特別増強運動が始まりました。"貯畜は明日への力"を呼びかけのことばとして、この運動は九月一日から十月末まで続けられます。郵便局、銀行、農協などの金融機関を通して行われる預貯金は、個人の生活の安定に役立っているばかりでなく、貿易の振興、電力などの資源開発、道路・交通の整備・中小企業、農村漁業などの発展に、また、学校、水道など地方公共団体の諸事業にも、財政融資が行われています。

本町では郵政省関係だけでも一、七二〇万円にのぼる融資をうけ、町営住宅の建設や、学校施設の整備など事業に使われてきました。こうしてあなたの貯金は広く使われて、社会のために役立っているのです。

あなたのためにも、社会のためにも「見栄とムダをなくして」まず貯畜いたしましょう。

陸上 自衛官 採用

志願受付　9月1日～10月10日

資格　18才から25才までの男子で中学卒業程度の学力をもっている者。
試験　十月下旬
入隊　来年一月から
初任給　六、二〇〇円
また自衛隊大久保駐とん部隊では、一人でも多くの人に自衛隊を知ってもらうために、隊内を見学させています。